

## 【第1号議案】

### 2013（平成25）年度事業報告

日本鑄造工学会は平成23（2011）年4月1日に公益社団法人として登記を行い、新定款第3条（目的）のとおり「鑄造工学に係る学術及び技術の振興を図り、日本及び世界のものづくり基盤産業の発展に寄与し、社会の豊かな生活を実現することを目的とする」に合致した公益事業をこれまで以上に活発に展開してきた。経済情勢の現況や会員数の減少など本会を取り巻く情勢は厳しいが、平成21（2009）年度に策定した長期ビジョンのロードマップの進捗を振り返り、新たな第2期長期ビジョン策定の作業を開始した。具体的には今までどちらかという大企業や大学・高専の会員を対象にした活動が多かったことを反省し、会長と各支部の中小企業経営者との懇談会を開催する中で得られた工学会に対する意見・要望を新しいビジョンに織込むべく論議を進め、そのための活動資金を予算化し、2013年度から新たな活動を開始した。

公益事業としては、公1：鑄造工学に関する学術講演会、講習会等の開催事業、公2：鑄造工学に関する調査研究事業、公3：鑄造工学に関する表彰及び奨励事業、公4：鑄造工学に関する広報誌等発行による普及啓発事業、そのほか、他1：会員に頒布する図書発行事業の5つの区分にしたがって活動を行った。

平成25（2013）年度実施した事業は以下のとおりである。

#### 1. 学術講演会、講習会等の開催事業（公1）

国内の鑄造業界においてはさまざまな課題が山積している。課題克服に向け、この技術を受け継ぎ、さらにそれらを発展させることのできる人材の育成、海外との競争力強化、経営基盤の強化、環境対策、鑄造産業自体を広く国民に理解していただく努力をどのように進めるかの検討を開始した。

2013年度は全国講演大会を例年の通り、春季と秋季の2回開催し、合計232件の研究成果の発表・討論を行った。また技術講習会、若手鑄造技術者を中心とするYFE大会、鑄造関連工場の見学会、鑄造関連商品やその技術に関する展示会などの諸行事も同時に開催し、一般市民や会員にとっての交流の場を作ってきた。特別講演や招待講演として、韓国、中国などの鑄造工学会との交流講演や国内要人の講演を実施した。また2013年度、鑄造工学会の技術賞、豊田賞を受賞した方々の講演を実施した。さらに鑄物や鑄造技術を身近に感じることができる「こども鑄物教室」、鑄造コンテストや工場見学会により、鑄造産業自体を広く国民に理解していただく機会を設け、鑄造工学や鑄物製品に初めて触れ、それを端緒にして鑄造技術を受け継いでいく人材の育成を行った。具体的には、高校生を対象に、室蘭工業大学で「理系学生応援プロジェクト」を3回開催し、鑄造技術や工学に興味を持ってもらう機会を作った。特記事項として9月には、隔年で開催する日韓YFEワークショップの第5回目を室蘭工業大学で開催した。

また各支部主催で、地域に密着した、要求に沿ったテーマを選び、講演会、講習会を実施した。その他、関連団体との共催による講演会、講習会、研修会の開催も行った。

- (1) 全国講演大会を春季（関東地区）及び秋季（北陸地区）にて開催。
- (2) 講演会・技術講習会等は、特別講演、地域との共催を含み、北海道、東北、関東、北陸、東海、関西、中国、九州の全支部で、その特徴を生かして計42回開催。
- (3) シンポジウムを1回開催。
- (4) YFE大会は全国講演大会時の開催、若手討論会を含み9回開催。
- (5) 工場見学会は講演会開催地での見学、YFE大会時の見学など11回開催。
- (6) こども鑄物教室は6会場で開催。
- (7) 日韓、日中交流講演を1回開催。
- (8) 日韓YFEワークショップを室蘭で開催。

(9) 人材育成のための鑄造カレッジは、日本鑄造協会との共催により4地区で開催、素形材センターとの共催による研修講座、技術セミナーを22テーマについて開催。

## **2. 鑄造工学に関する調査研究事業(公2)**

鑄造工学に関する各技術分野の専門家による、鑄造工学に関する研究、調査、技術交流事業を行ってきた。研究委員会の基にある研究部会のほか、地域のニーズに合せた鑄物研究部会、現場鑄造技術部会、専門部会や合同研究部会による活動を行った。

研究成果は研究報告書により公開し、希望者は報告会等に参加、調査研究結果の有効活用に努めた。また広く鑄造工学に関する情報や資料の収集を行い、その研究成果を発表した。

- (1) 研究部会活動の推進と研究報告書No.112の発行、技術レビュー記事などを「鑄造工学」誌に発表。
- (2) シンポジウムの開催により研究部会成果を公開。
- (3) 全国講演大会時にオーガナイズドセッションを開催し部会活動の成果を報告。
- (4) 鑄造技術部会、現場鑄造技術研究会、合同研究会、鑄物研究会、その他各種研究会等多数開催。

## **3. 表彰及び奨励事業(公3)**

将来の鑄造産業及び日本の製造業の発展のため、優れた業績を挙げた会員や一般市民に、日本鑄造工学会大賞をはじめ11種類の表彰を行った。その他、学術講演会で研究成果を発表した学生の優秀な講演に対する表彰、鑄造関連企業に就職した大学等の卒業生を対象に設けた奨励賞制度で表彰した。また、寄付金をもとに設定した基金から、若手研究者の研究奨励助成、若手活動支援、新東工業鑄造技術研究助成の制度により研究等の奨励を行った。

各支部においては、地域に密着した表彰及び奨励制度により、表彰、奨励を実施した。

### (1) 表彰

#### a. 本部関係

日本鑄造工学会大賞(1件)、優秀論文賞(1件)、論文賞(2件)、クボタ賞(2件)、飯高賞(1件)、功労賞(7件)、技術賞(4件)、網谷賞(4件)、豊田賞(3件)、日下賞(3件)、キャストイングズオブザイヤー賞(2件)の授与

#### b. 支部関係

東北支部：大平賞2名、金子賞1名、井川賞2名、堀江賞4件、関東支部：現場改善賞5サークル、特別功労賞1名、功績賞3名、東海支部：支部賞14名、奨励賞1名、堤記念賞1名、功労賞3名、功績賞5名、関西支部：石野賞1名、功労賞1名、技術功労賞2名、研究奨励賞2件、支部奨学賞4名、中国・四国支部：片島賞8件、功労賞2名、奨励賞2名、九州支部：技能功労賞3名、技術奨励賞1名 に授与。

### (2) 奨励

#### a. 本部関係

若手研究奨励助成(6名)、若手活動支援(2名)、新東工業鑄造技術研究助成(1名)に授与。

#### b. 支部関係

関西支部：研究奨励2件の実施

## **4. 鑄造工学に関する広報誌等発行による普及啓発事業(公4)**

学会誌「鑄造工学」を毎月発行した。最新の研究論文、技術論文をはじめ技術報告、解説、連載講座「鑄造工学概論」、新連載「鉄鑄物の歴史」、現場改善事例、レビューの他、鑄造業界の要人のインタビュー記事やシリーズ「戦中戦後の鑄造技術・研究と後進へのメッセージ」、さらにこれに続く新シリーズ「戦後高度成長期の鑄造技術・研究・経営と後進へのメッセージ」の開始、Q&Aコーナー、また今年は特集を2回掲載し、研究者、技術者及び経営者のいずれの方にも役立つ情報を拡大掲載した。また英文誌「Materials Transactions」の8学協会との共同

発刊に協力するとともに、本会会員の投稿を積極的に推進した。

また、支部においては地域の会員に対する魅力ある活動の一環として、地域に特徴をもった支部会報の発行を進め、普及を図った。

(1) 学会誌「**鑄造工学**」の定期発刊

会誌「**鑄造工学**」第85巻第4号より第86巻3号までの12冊を発行した。

特集号を9月、12月に発行した。

9月特集「**近年の鑄造設備研究・開発の進展**」

12月特集「**鑄造品を評価する技術**」

(2) 全国講演大会講演概要集を5月(研究報告112編)、10月(研究報告120編)に発行した。

(3) 技術講習会テキストを5月、8月、10月に発行した。

5月「**近年の鑄造CAEの発展と今後の展望**」

8月「**鑄物に活用される強度評価技術の基礎**」

10月「**鑄造品の真の不良原因をとらえ的確な不良対策を考える**」

(4) 研究報告書はNo.112を発行した。

研究報告112「**ダイカストの品質及び生産性向上技術**」

(5) 支部会報発刊：北海道支部第141号、東北支部第49号、関西支部創刊号、中国四国支部会報「**こしき**」第36号の発刊。その他、ニュースレターの発行、各支部ホームページにより地域に合った情報発信を行っている。

## **5. 会員等に頒布する図書発行事業(他1)**

専門誌、図書発行を行う。当事業では、鑄造研究者、鑄造技術者向けに鑄造工学に関する専門誌を発行し、会員はじめ鑄造関連技術者相互の利益を図ることとしている。

主に鑄造分野の特定領域について深く掘り下げた専門性の高い内容を図書としているもので、多くの販売が望めないものであるが、鑄造分野においては必要不可欠な、将来に残すべき内容をまとめて発刊する。その分野の先進の専門家が編集委員会を組織し、データの収集と編集を行っている。今年度は発刊から30年経過した「**鑄鉄溶解ハンドブック**」の改訂版発刊に向け、準備作業を開始した。さらに2007年に発刊し好評を博している「**鑄造欠陥とその対策**」の英語版の発刊に向け準備を開始した。

(1) 研究報告書、テキストなどの発行

## **6. その他、本会の目的を達成するための事業**

(1) 国内関係

他学協会(日本工学会、日本鑄造協会、素形材センター等)との協力

(2) 国際関係

国際鑄物会議への協力(2016年 世界鑄造会議を名古屋で開催)、アジア鑄物会議への協力、日韓YFEワークショップ開催、中国・韓国鑄造工学会との交流、海外開催学会への派遣など。

## **7. 本会の法人管理・運営に関する事業**

(1) 総会、理事会、各種委員会と長期ビジョン委員会の開催など。

## 2013(平成25)年度事業報告に関する事項

### 1. 総会に関する事項(定款第13条)

平成25(2013)年度定時社員総会

日 時 平成25(2013)年5月25日(土)  
15:30~17:00

場 所 山梨大学甲府キャンパス A2号館  
(山梨県甲府市武田4-3-11)

出席者 170名(委任状82名を含む)  
(代議員総数200名)

付議事項(1)平成24(2012)年度事業報告  
(2)平成24(2012)年度収支決算及び監査報告  
(3)平成25(2013)年度事業計画の件  
(4)平成25(2013)年度収支予算の件  
(5)平成25(2013)年度役員選任の件(理事の交代)  
(6)名誉会員推薦の件  
(以上いずれも可決)

報告事項(1)若手研究助成・支援金授与者報告

### 2. 表彰・奨励に関する事項(定款第4条第3号)

1) 表彰 平成25(2013)年度各賞の受賞者は次のとおり。(敬称略)

(1) 日本鑄造工学会大賞 ・野口昌彦  
(2) 優秀論文賞 ・八百川 盾 岩田 靖  
天野憲広 中道 隆  
論文賞 ・水本将之 田中浩章  
香川明男  
・堀江 皓 平塚真人  
小綿利憲

(3) クボタ賞 ・矢野 武 ・鳥越 猛

(4) 飯高賞 ・大澤嘉昭

(5) 功労賞 ・岩淵義孝

・長谷川徹雄・金森 敬

・三輪謙治 ・入澤 毅

・下西 淳 ・笹栗信也

(6) 技術賞 ・岡田民雄 朴 龍雲

・丹羽一文 脇田裕介

中嶋勝司

・加藤房也 加藤丈人

西尾敏幸

・日根野 実 遠城暢平

橋本国秀

(7) 網谷賞 ・佐々木 岳他

(浅間技研工業株式会社)

・鳥居秀則他

(豊田自動織機株式会社)

・武藤修司他

(トヨタ自動車株式会社)

(8) 豊田賞

(9) 日下賞

(10) キャスティングズ・オブ・ザ・イヤール

(10) キャスティングズ・オブ・ザ・イヤール

・株式会社古久根

・株式会社三共合金鑄造所

### 2) 奨励

(1) 平成24(2012)年度から開始した新東工業鑄造技術研究奨励助成金を1名に授与した。

(2) 平成25(2013)年度鑄造業関連に就職した大学等の卒業生37名に「奨励賞」を授与した。

(3) 平成25(2013)年度「若手研究奨励助成金」を6名に授与した。

(4) 平成25(2013)年度「若手活動支援金」を2名に授与した。

### 3. 主務官庁指示に関する事項

下記のとおり内閣総理大臣宛てに報告書を提出した。

1) 平成24(2012)年度事業報告書及び収支決算書  
平成25年6月30日

2) 平成26(2014)年度事業計画書及び収支予算書  
平成26年3月31日

### 4. 登記に関する事項

1) 平成25(2013)年4月1日付で、事務所を中央区銀座8丁目から港区芝大門1丁目に移転(臨時社員総会で承認)した旨、東京法務局に申請し、登記簿を変更した。(2013年4月11日登記)

2) 平成25(2013)年5月25日の社員総会により選任(交代)された新役員を東京法務局に申請し、登記簿を変更した。

### 5. 全国講演大会(定款第4条第1号)

1) 第162回全国講演大会及び諸行事に関する事項

日時:平成25(2013)年5月24日(金)

~5月27日(月)

場所:山梨大学甲府キャンパス A2号館

(山梨県甲府市武田4-3-11)

参加:635名(中国5名,韓国2名,台湾22名)

(1) 研究論文発表 112件

(2) 優秀論文賞受賞記念講演

八百川 盾君

・前田健蔵他  
(株式会社柴田製作所)

・日産自動車株式会社

田中 徹他

・美濃工業株式会社

大池俊光他

・大洋マシナリー株式会社

渡邊高文他

・高川貴仁 ・山根英也

・中本光二

・株式会社古久根

・株式会社三共合金鑄造所

- 「凝固速度の影響を考慮した共晶組成Al - Si合金の過凝固解析」
- (3) 論文賞受賞記念講演
- a. 堀江 皓君  
「高Mn片状黒鉛鑄鉄のチル化傾向と機械的性質に及ぼすMn/S比及び接種剤の影響」
- b. 水本将之君  
「Fe - Nb - C合金添加によるフェライト系ステンレス鋼の結晶粒微細化」
- (4) YFE大会(日下賞受賞記念講演含む)  
参加者 70名(講演 7件)
- a. 鑄造技士講演 2件
- b. 新東工業若手研究助成講演 1件
- c. 日下賞受賞記念講演 4件
- (5) 日中, 日韓交流招待講演
- a. Future Casting 中国鑄造工学会 祝建勲氏
- b. Recent Development of Heat Resistant Al Cast Alloys  
Sungkyunkwan Univ. Kim, Young-jig
- (6) オーガナイズドセッション  
現場技術改善事例 発表件数 8件
- (7) パネルディスカッション  
「日本の鑄造技術者を元気にするにはどうしたらいいか?」
- ・講演: 4件
- 会長の思い 山内会長  
長期ビジョン小委員会報告 白川理事  
新しい長期ビジョン 橋本企画委員長  
産学連携の例 平塚理事
- ・ディスカッション
- (8) 工場見学会 総計124名
- 1班 (株)プログレス, 三井金属工業(株)ダイカスト事業部 葦崎工場
- 2班 (株)キッツ長坂工場, (株)ヤマトインテック
- 3班 富士重工業(株)群馬製作所大泉工場, 日野自動車(株)新田工場
- 4班 日立金属(株)熊谷工場, (株)東京軽合金製作所
- (9) 懇親会 参加者 420名 石和温泉「慶山」
- (10) 技術展示会  
カタログ展示コーナー 54社の展示  
PRコーナー 24社の技術プレゼンテーション
- (11) エクスカーション 参加者 11名
- 2) 第163回全国講演大会及び諸行事に関する事項  
(日本鑄造協会平成25年度秋季大会との合同大会)  
日時: 平成25(2013)年10月25日(金)  
~10月28日(月)  
場所: 高岡商工ビル(丸の内1 40), 高岡JAビル  
(あわら町1 1)  
参加: 805名(内 日本鑄造協会140名)
- (1) 研究論文発表 120件  
(技術賞, 豊田賞受賞記念講演を含む)
- (2) 技術賞受賞記念講演
- a. 橋本国秀君  
「アルミナフォーミング材料の開発」
- b. 岡田民雄君  
「ルツボ式省エネルギー型アルミリサイクル炉の開発」
- c. 脇田裕介君  
「高効率鑄鉄連続溶解システム(DIFIC)の開発」
- d. 青山 憲君  
「3次元複雑形状の青銅鑄物に向けた凍結鑄造システムの開発」
- (3) 豊田賞受賞記念講演
- a. 木村英志君  
「革新的鑄鉄製カムシャフトの開発」
- b. 大池俊光君  
「低圧ダイカスト技術による超薄肉アルミニウム合金ダイカスト部品の生産技術」
- c. 藤井 真君  
「共振型高加速度振動機を利用した中子落とし装置と内面研削装置の開発」
- (4) 特別講演
- a. コマツ会長 野路國夫氏  
「コマツのグローバル生産体制と鑄造の役割」
- b. 日本鑄造工学会会長 山内康仁氏  
「ものづくりイノベーション - 今やるべきこと - 」
- (5) 工場見学会 参加者 122名
- 1班 サンクリエイト株式会社, 高岡市鑄物資料館, (株)クロタ ニコーポレーション
- 2班 (株)協和製作所, コマツキャストイクス(株)
- 3班 北陸ケーティーツール(株), 谷田合金(株), (株)明石合銅
- 4班 コマツNTC(株)福野工場, 津田駒工業(株)松任工場, 石川可鍛製鉄(株)
- (6) こども鑄物教室  
10月26日(土)高岡商工ビル前特設テント  
参加者 50名の小学生とその保護者
- (7) 懇親会 参加者 529名  
ホテルニューオータニ高岡  
同会場で学生交流会開催 参加者27名
- (8) 企業技術展示会  
カタログ展示コーナー 展示企業 38社  
PRタイム 17社
- (9) エクスカーション 参加者 13名  
「世界文化遺産と国宝を巡る旅」

## 6. 技術講習会に関する事項(定款第4条第1号)

### 1) 「近年の鋳造CAEの発展と今後の展望」

日時: 2013(平成25)年5月24日(金)10:00~16:30

場所: 早稲田大学

西早稲田キャンパス58号館3階319号室

参加者: 104名

- 題目及び講師 -

(1) 【基調講演】「国際会議にみられる鋳造CAEの動向と今後のあり方」

大阪大学名誉教授 大中逸雄

(2) 【基調講演】「粒子法と鋳造シミュレーション」

東京大学 教授 越塚誠一

(3) 「鋳造CAEソフトJSCASTの最新動向と適用事例紹介」

クオリカ(株) 村上俊彦

(4) 「鋳造シミュレーションシステムADSTEANの最新技術紹介」

茨城日立情報システム(株) 谷本雅俊

(5) 「鋳造CAEソフトTopCASTの機能と適用事例紹介」

(株)トヨタコミュニケーションシステム 日比野 健

(6) 「アルミニウム合金におけるマルチスケール鋳造シミュレーション」

(株)イーケーケージャパン 出来尚隆

(7) 「鋳造プロセス解析ソフトMAGMASOFTの特徴と適用事例」

SCSK(株) 村上 敦/ 瀧下雅彦

2) 「鋳造品の真の不良原因をとらえる確な不良対策を考える」

日時: 2013(平成25)年10月25日(金)10:00~17:20

場所: 高岡商工ビル 2階大ホール

(高岡市丸の内1-40)

参加者: 148名

- 題目及び講師 -

(1) 【基調講演】「鋳造不良の科学」

早稲田大学名誉教授 中江秀雄

(2) 「SEM/EDSによる鋳物品の鋳造欠陥原因の解析」

ミクロ解析センター 五十嵐芳夫

(3) 「溶解に起因する欠陥とその対策」

栗熊技術事務所 栗熊 勉

(4) 「砂に起因する鋳造欠陥と慢性不良対策の対応について」

(株)アイメタルテクノロジー 佐藤和則

(5) 「ダクタイル鋳鉄の鋳造欠陥に対する鋳造方案」

(有)張技術事務所 張 博

(6) 「鋳造欠陥を低減する各工程の管理項目」

小林技術士事務所 小林良紀

(7) 「品質工学の考え方と現場適用事例」

(株)小松製作所 細井光夫

応用計測研究所 矢野 宏

3) 「鋳物に活用される強度評価技術の基礎」

日時: 2013(平成25)年8月23日(金)10:00~16:00

場所: 東京都市大学 世田谷キャンパス2号館

参加者: 34名

- 題目及び講師 -

(1) 「鋳造材料の強度試験(引張試験, 硬さ試験, 衝撃試験他)」

近畿大学 旗手 稔

(2) 「鋳造材料の疲労試験」

室蘭工業大学 清水一道

(3) 「鋳造材料のフラクトグラフィ - フラクトグラフィの基礎 - 」

東京都市大学 白木尚人

(4) 「鋳造材料の非破壊検査の原理と応用」

北海道立総合研究機構 工業試験場 相山英明

## 7. 技術賞・豊田賞受賞記念講演会に関する事項(定款第4条第1号)

受賞記念講演を実施した。

日時: 平成25(2013)年10月26(土), 27日(日)

場所: 高岡商工ビル, 高岡JAビル

## 8. シンポジウムに関する事項(定款第4条第1号)

「ダイカストの品質及び生産性向上」

日時: 平成25(2013)年7月12日(金)10:30~17:00

場所: 名古屋国際会議場

参加者: 83名

## 9. 国際会議に関する事項(定款第4条第5号)

1) 日・中・韓交換講演

5月25日(土)山梨大学甲府キャンパス

2) 第5回日韓YFEワークショップ開催

日時: 2013年9月6日(金)~8日(日)

場所: 室蘭工業大学(北海道室蘭市水元町27-1)

参加者: 78名(日本51名, 韓国27名)

発表件数: 56件(日本34件, 韓国22件)

## 10. 出版に関する事項(定款第4条第4号)

1) 定期刊行物

会誌「鋳造工学」第85巻第4号より第86巻第3号までの12冊を発行,(うち9号と12号は特集号)全会員に配布, 希望者に頒布を行った。

2) 全国講演大会講演概要集(参加者に配布及び希望者に頒布)

(1) 第162回講演概要集 112編

(2) 第163回講演概要集 120編

3) 技術講習会教材(参加者, 維持会員への配布及び希望者に頒布)

(1) 「近年の鋳造CAEの発展と今後の展望」2013年5月発行, 106頁

(2) 「鋳造品の真の不良原因をとらえる確な不良対策を考える」2013年10月発行, 73頁

(3) 「鋳物に活用される強度評価技術の基礎」2013年8月発行, 115頁

4) 研究報告書(維持会員への配布と希望者への頒布)

- (1) 研究報告112  
「ダイカストの品質及び生産性向上技術」平成25  
(2013)年5月 180頁 ダイカスト研究部会

- (8) 全国講演大会時で「学生優秀講演賞」を春4名、  
秋4名に授与した。
- (9) 論文賞、網谷賞の選考を実施した。
- (10) 会誌掲載論文のカラー化に向けて準備を進め  
た。

#### 11. 各種委員会に関する事項(定款第4条第6号)

##### 1) 企画委員会に関する事項

- (1) 本会及び会員の活性化を目的とした諸企画を立案・実践した。今年度は新たに全国講演大会開催時に「学生交流会」を、また「現場技術者ミーティング」をトライアル開催した。
- (2) 他の学協会との連携を推進するための提案を策定し、(一社)日本鑄造協会との秋季大会合同開催及び鑄造カレッジの共催、(一財)素形材センターとの研修講座の共催を行った。
- (3) 各種規程類の見直し・改定を精力的に進めた。
- (4) 第2期長期ビジョン策定にあたり、小委員会活動を積極的に推進し、方向付けを行った。
- (5) 2012年度に続き、会長と各支部中小企業経営者との懇談会を開催した。
- (6) 「図書出版基金」を新たに設立した。
- (7) 各賞表彰選考及び研究奨励助成・支援金授与者の選考を行った。
- (8) 学会事務局職員等に関連する規程の見直しを行った。

##### 2) 行事企画委員会に関する事項

- (1) 2012年に引続き本部主催の講習会を8月に開催した。
- (2) 支部主催の講習会を支援した。
- (3) 「学生鑄物コンテスト」2014年度開催のプレ開催(案)を策定した。

##### 3) 編集委員会に関する事項

- (1) 2013年4月1日以降受付の投稿論文から、投稿料を無償化した。
- (2) 掲載論文の質・量の向上と掲載までの短期化のための活動を推進した。
- (3) シリーズ「戦中戦後の鑄造技術・研究と後進へのメッセージ」に引続き「戦後高度成長期の鑄造技術・研究・経営と後進へのメッセージ」の掲載を開始した。
- (4) 若手研究者・技術者向けの教科書として、連載講座を開始した。
- (5) 85巻5号から「鉄鑄物の歴史」の連載を開始した。
- (6) 英文誌“Materials Transactions”共同刊行を推進した。
- (7) 第85巻9号を「近年の鑄造設備研究・開発の進展」の特集、12号を「鑄造品を評価する技術」の特集として発行した。

##### 4) 国際関係委員会に関する事項

- (1) 英文誌“Materials Transactions”共同刊行への協力。また、本英文誌へ本会員の研究論文の掲載を支援した。
- (2) 世界鑄造技術機構(WFO)技術小委員会に参加した。
- (3) 日本・韓国・中国との鑄造工学会交流を推進した。
- (4) 2016年世界鑄造会議(WFC2016)の日本開催に向け、組織委員会の結成に引続き、募金委員会を組織化し活動を開始した。

##### 5) 研究委員会に関する事項

- (1) 研究部会活動の推進を行った。
- (2) 期限付き部会「黒鉛形状定量化部会」を立ち上げた。
- (3) 各研究部会の活動状況を年2回理事会で報告するとともにホームページで最新の状況を提供するようにした。
- (4) 全国講演大会で2部会のオーガナイズドセッションを開催した。
- (5) 鑄造品の評価技術研究部会「UT技術者養成講習会」を推進した。
- (6) 研究報告書112を発刊した。

##### 6) YFE委員会に関する事項

- (1) 若手鑄造技術者・研究者の会員増強について検討・推進した。
- (2) YFE委員長と各支部YFE代表者との連携強化を図った。
- (3) 第5回日韓YFEワークショップを9月に室蘭工業大学で開催した。
- (4) 「理系学生応援プロジェクト」を立ち上げた。8月、9月と室蘭工業大学で女子を対象に2回開催、引続き2014年2月には男子を含め開催した。
- (5) 全国統一版「こども鑄物教室」を立ち上げ、第163回全国講演大会(高岡市)を皮切りに、11月の「鑄物の日」にあわせ東京都市大学等々力中学校高等学校で開催した。
- (6) 全国講演大会の懇親会の場で「学生交流会」の開催を開始した。
- (7) 鑄造若手技術者育成ネットワーク構築プロジェクトの準備。

7) 財務委員会に関する事項

- (1) 財政強化の施策として、経費削減活動を推進した。
- (2) 経費削減の一環として、4月1日から本部事務局を銀座から芝大門に移転した。
- (3) 会計業務の監督・指導と財政の健全運営化を進めた。
- (4) 2013(平成25)年度決算、2014(平成26)年度予算案の策定を行った。

8) 人材育成委員会に関する事項

- (1) 日本鑄造協会と共同で「鑄造カレッジ」の開催を4地区で実施。(関東地区、中部地区、関西地区、中国四国地区)
- (2) 「鑄造カレッジ」上級コースの開設準備
- (3) 他の学協会等と共催して、人材育成関連事業を支援・推進した。

9) 広報委員会に関する事項

- (1) 学会ホームページを4月に大幅更新、内容の充実を図った。
- (2) 「鑄造工学」第80巻まで、J-STAGEへ掲載し閲覧できるようにした。
- (3) WFC2016のプロモーション用DVD、1<sup>ST</sup>サーキュラーを作成した。
- (4) 「鑄造工学会のごあんない」パンフレットを更新した。
- (5) ホームページの内容充実に向けた活動を開始した。

10) 長期ビジョン委員会に関する事項

- (1) 2013年度は2回の長期ビジョン委員会を開催し、ロードマップの見直し案を論議した。第2期長期ビジョンの考え方について、第163回全国講演大会で山内会長が途中経過を含め講演した。
- (2) 第2期長期ビジョン策定のための小委員会をほぼ毎月開催し、学会の将来に向けた論議を継続し、できることから具現化してきた。

12. 会員移動に関する事項

1) 会員別の増減

会員別	正会員	学生会員	外国会員	維持会員 (事業所数)	維持会員 (口数)	名誉会員
2013年3月末	2,615	175	49	359	502	27
2014年3月末	2,736	145	51	368	510	27
増減	121	-30	2	9	8	0

2) 支部別の内訳(2014(平成26)年3月末)

支部	正会員	学生会員	維持会員	同左口数
北海道	68	7	8	9
東北	207	8	30	35
関東	711	53	91	128
北陸	130	16	17	21
東海	858	20	120	176
関西	374	25	54	86
中国・四国	257	2	28	33
九州	131	14	18	20
合計	2736	145	368	510(含海外2)



## 平成25(2013)年度支部事業報告に関する事項(案)

### 1. 北海道支部

#### (1) 支部大会

平成25年4月19日(金)旭川トーヨーホテル(旭川市)にて講演大会,支部総会,特別講演会,交流会を開催。講演大会は金属学会北海道支部との共催にて実施し,発表件数9件(鑄造工学会7件,軽金属学会2件)であった。

特別講演会は松木俊朗氏(山形県工業技術センター)と桃野正氏(室蘭工業大学教授)の両氏にご講演いただいた。

#### (2) 支部現場技術研修会

支部大会前日の平成25年4月18日(木)に旭川市内にて工場見学(臼井鑄鉄工業株式会社)と技術研修会を行った。研修会では,講師に榎三石ハイセラムの鐵山一氏を迎え,「耐火物について」と題して,築炉材等に使用される各種耐火物の素材についてご講演をいただいた。

#### (3) 支部企画・技術委員会

第1回支部企画委員会 平成25年10月23日(水)

北海道総研工業試験場(札幌市)

第2回支部企画委員会 平成26年1月28日(火)

北海道総研工業試験場(札幌市)

#### (4) 支部専門別研究会

##### 鑄造技術研究会

(主査:長船康裕氏/室蘭工業大学)

第4回 平成25年12月17日(火)札幌市かでの27にて開催

##### 非鉄鑄物の高度化技術研究会

(主査:柴田義光氏/苫小牧市テクノセンター)

第8回 平成26年1月30日(水)苫小牧市テクノセンターにて開催

#### (5) 支部会報編集委員会

支部会報第141号とニュースレター11号の発行

第96回支部編集委員会 平成25年12月4日(水)

北海道総研工業試験場にて開催

第97回支部編集委員会 平成26年3月4日(火)

北海道総研工業試験場にて開催

#### (6) 支部理事会

平成26年2月7日(金)KKRホテル札幌にて開催,平成25年度事業報告と収支及び平成26年度事業計画,予算,全国大会北海道開催について協議した。

### 2. 東北支部

#### (1) 平成25年度定例理事会

開催日:平成26年3月20日(木)14:30~17:00

開催場所:盛岡地域交流センター(マリオス)180会議室

参加者:18名

概要:平成25年度事業報告・収支報告の承認  
平成26年度事業計画・収支予算の審議・承認等

#### (2) 平成25年度東北支部総会・表彰式・支部第43回秋田大会

開催日:平成25年4月24日(水)~25日(木)

開催場所:秋田市にぎわい交流館AUK(あう)研修室1,2

参加者:86名

支部総会:平成24年度事業報告・収支報告の承認  
平成25年度事業計画・収支予算の審議・承認

支部各賞の内規の改定の審議・承認等

表彰式:大平賞:小綿 利憲氏(岩手大学)

大平賞:村田 秀明氏

(前澤給装工業(株))

金子賞:金子 雅和氏

(株)アイメタルテクノロジー)

井川賞:松木 俊朗氏

(山形県工業技術センター)

村上 淳氏(テクノメタル(株))

堀江賞:サンドフレンズFサークル

(高周波鑄造(株))

鑄造部(テクノメタル(株))

まぐる10

(美和ロック(株)盛岡工場)

わいわいサークル

(株)柴田製作所)

特別講演:①「秋田県の宇宙開発 - ペンシルロケットからハイブリッドロケットへ -」  
秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター副センター長 和田 豊氏

②「新素形材ビジョンの策定と優れた鑄造企業経営の共通点」

経済産業省製造産業局素形材産業室

課長補佐 堀 琢磨氏

工場見学:(4月25日)

・秋木製鋼(株) 能代市中川原26

・小玉醸造(株) 潟上市飯田川飯塚字飯塚34-1

・ブルーホール

参加者28名

#### (3) 鑄造技術部会

1) 第87回鑄造技術部会

開催日:平成25年7月24日(水)13:30~17:00

開催場所：盛岡地域交流センター（マリオス）  
会議室185&186室

参加者：43名

講演概要：

- ①ヒートシンク用フィン付き平板状アルミニウム鋳物の指向性凝固特性  
秋田大学 後藤育壮氏，麻生節夫氏
- ②アルミニウムダイカスト用ソルト中子の高温における耐熱衝撃性  
東北大学 大沢崇之氏，及川勝成氏，  
安斎浩一氏
- ③5源主義を用いたセンサー台のスクワレ不良対策について  
(株)及精鋳造所 佐藤伸征氏，他3名
- ④薄肉球状黒鉛鋳鉄の黒鉛粒数に及ぼす微量REとCa，Ba複合添加の影響  
岩手大学 小綿利憲氏，平塚貞人氏，  
勝負澤善行氏
- ⑤スマートセンサを用いた鋳造工場の電力測定及び溶解の省電力・低コスト化への取組み  
カクチョウ(株) 長谷川文彦氏，  
長谷川芳文氏  
山形県工業技術センター 多田伸吾氏，  
松木俊朗氏，齋藤吉実氏
- ⑥「ダイカスト金型表面ディンプル加工条件の検討」  
東北大学 平田直哉氏，松永修平氏，  
安斎浩一氏  
新東工業(株) 平野雅雄氏

## 2) 第88回鋳造技術部会

開催日：平成26年3月4日(火)

13:30~17:00

開催場所：ホテルサンルート山形

参加者：33名

講演概要：

- ①高Co球状黒鉛鋳鉄のAl合金溶湯に対する耐溶損性  
秋田大学 渡邊悠斗氏，麻生節夫氏，  
後藤育壮氏，他2名  
岩手県工業技術センター 池浩之氏，  
(株)小西鋳造 小西信夫氏
- ②岩手，宮城，山形のIMY連携事業によるアルミニウム合金鋳造技術の高度化  
・アルミニウム合金溶湯の清浄度評価技術の開発  
岩手県工業技術センター 岩清水康二氏  
・アルミニウム合金溶湯の流動性評価  
宮城県産業技術センター 内海宏和氏  
・アルミニウム合金鋳物の結晶粒微細化

山形県工業技術センター 齋藤吉実氏

③一気通貫3Dデジタルシステムによる金型製作技術

エヌ・シー・ロード 山口正人氏，  
猪俣秀規氏，谷川庄司氏

④東北経済産業局自動車産業室の取り組みと鋳造技術への期待  
東北経済産業局自動車産業室 井元尚充氏

## (4) 第21回東北支部YFE大会

開催日：平成25年11月20日(水)~21日(木)

開催場所：天童温泉「パラシオもがみ」

参加者：62名

講演会：「改めて見直す溶湯処理」

- 1) 出席者紹介
- 2) 報告：事前アンケートの集計結果
  - ① 鋳鉄系メーカーの概要  
山形県工業技術センター  
松木俊朗氏
  - ② アルミニウム系メーカーの概要  
岩手県工業技術センター  
岩清水康二氏
- 3) 研究発表：  
新しい組織制御技術の開発  
金属溶湯の凝固組織に及ぼす機械的振動の影響  
岩手製鉄 本間肇氏，  
岩手大学 晴山巧氏
- 4) 基調講演：  
溶湯処理の基礎及び最近の動向  
溶湯処理剤メーカー3社より講演  
(有)日下レアメタル研究所，  
大阪特殊合金(株)，東洋電化工業(株)
- 5) 総合討論
- 6) 工場見学：  
クニミネ工業株式会社 左沢工場

## (5) 第13回夏期鋳造技術講座

開催日：平成25年9月4日(水)~6日(金)

開催場所：奥州市鋳物技術交流センター

参加者：24名

1日目 9月4日(水)

講演

- ①「鋳造概論」 岩手大学 堀江 皓氏
- ②「生型砂処理の基礎」  
システムサンド研究所 上原信二氏
- ③「海外の鋳物工場」  
新東工業(株) 竹内純一氏

2日目 9月5日(木)

講演

①「鋳鉄の材質と組織」

岩手大学 平塚真人氏

実習

①砂試験：

奥州市鋳物技術交流センター

米倉勇雄氏

岩手県工業技術センター

岩清水康二氏

②材質試験： 岩手県工業技術センター

高川貫仁氏

岩手大学 鈴木政寿氏

③組織観察： 岩手大学 勝負澤善行氏

岩手大学 伊藤達博氏

3日目 9月6日(金)

講演

①「やさしい鋳物の凝固時間の計算法

-クボリノフの法則を適用してみよう-

桃野 正氏

②「金属の状態図と組織」

秋田大学 麻生節夫氏

(6) 支部会報

第49号は、平成26年3月末発行

3. 関東支部

1. 総会

平成25年度通常総会

平成25年4月18日(木)

於 日立金属高輪和彊館(出席者36名)

主な議事 平成25年度事業報告・収支報告

平成26年度事業計画・収支予算(案)

2. 幹事会・理事会

幹事会：5回開催，理事会：5回開催

・平成25年4月18日(木)

於：日立金属高輪和彊館(出席者40名)

・平成25年6月10日(月)

於：東京工業大学 大岡山キャンパス  
(出席者32名)

・平成25年8月26日(月)

於：東京工業大学 大岡山キャンパス  
(出席者34名)

・平成25年12月12日(月)

於：日立金属高輪和彊館(出席者38名)

・平成26年2月24日(月)

於：東京工業大学 田町キャンパス  
(出席者38名)

3. 第25回加山記念講演会

平成25年4月18日(木)

於：日立金属高輪和彊館(参加者39名)

講演題目：「開発は不可能を可能にする」

講師：日本ルツボ株式会社

取締役会長 岡田民雄 氏

4. 顧問会

平成25年12月12日(月)於：日立金属高輪和彊館

1階「蘭」で開催。(参加者35名)

5. 研究委員会

支部講演会を2回開催した。

(1) 第87回支部講演会「戦中戦後を生き抜いた一人の鋳物屋からのメッセージと難鋳造マグネシウム合金ダイカスト技術の開発事例」～鋳造の故きを温ねて新しきを知る～

日時：平成25年8月26日(月)15:00～17:00

場所：東京工業大学大岡山キャンパス(参加者34名)

①「鋳物ヤ」一筋59年」

元(株)椿本鋳工社長 足立 恒 氏

②「自動車用耐熱マグネシウム合金ダイカスト技術開発」 (株)アーレスティ 栃木 榊原勝弥 氏

(2) 第88回支部講演会

「グローバル化におけるマザー工場の役割と溶湯流動挙動の可視化による現象解明」

日時：平成25年12月12日(木)15:00～17:00

場所：日立金属高輪和彊館3階 大会議場

(参加者：42名)

①「グローバル化におけるマザー工場としての取り組み」 日産自動車(株)栃木工場 第二製造部

部長 小笠原宏明 氏

②「鋳造条件による溶湯射出状況の影響」

東芝機械(株)ダイカストマシン技術部

開発・営業技術担当 相田 悟 氏

(3) 第162回全国講演大会技術講習会「近年の鋳造CAEの発展と今後の展望」

日時：平成25年5月24日(金)10:00～16:30

場所：早稲田大学西早稲田キャンパス58号館319室

①国際会議にみられる鋳造CAEの動向と今後のあり方 大阪大学名誉教授 大中逸雄 氏

②粒子法と鋳造シミュレーション

東京大学 教授 越塚誠一 氏

③鋳造CAEソフトJSCASTの最新動向と適用事例紹介 クオリカ(株) 村上俊彦 氏

④鋳造シミュレーションシステムADSTEFANの最新技術紹介

茨城日立情報システム(株) 谷本雅俊 氏

- ⑤ 鋳造CAEソフトTopCASTの特徴と適用事例  
 (株)トヨタコミュニケーションシステム  
 日比野 健 氏
- ⑥ アルミニウム合金におけるマルチスケール鋳造シミュレーション  
 (株)イーケーケージャパン 出来尚隆 氏
- ⑦ ドイツ製 鋳造CAEソフトMAGMASOFTの最新機能紹介  
 砂中子造型CAEソフト MAGMA C+Mの御紹介  
 SCSK(株) 村上 淳ノ瀧下雅彦 氏

## 6. 現場鋳造技術研究会

企画委員会を1回、研究会3回を開催した。

- (1) 企画委員会：日時 平成25年5月9日(木)  
 於：(株)瓢屋 東京営業所 会議室
- (2) 第129回研究会：平成25年7月19日(金)  
 於：早稲田大学各務記念材料技術研究所
- ① 事例発表(4件)
- ・「鋳鉄鋳造ライン重り移載工程ロス低減」  
 (株)アイメタルテクノロジー 明戸一真 氏
  - ・「デファレンシャルケースにおける湯境不良対策」  
 日産自動車(株) 吉田泰輔 氏
  - ・「肉厚鋳物の鑄巣改善について」  
 福島製鋼(株) 二階堂舟平 氏
  - ・「回収砂水分の安定化対策」  
 (株)ヤマトインテック 倉上一輝 氏
- (3) 第130回研究会：平成25年11月22日(金)  
 於：株式会社真岡製作所
- ① 工場見学 株式会社真岡製作所
- ② 事例発表(3件)
- ・「不良対策への取り組み」  
 (株)真岡製作所 安西雄一郎氏
  - ・「エアレーション充填技術を適用した小型抜き枠造型機の開発」  
 新東工業(株) 都築修一 氏
  - ・「低臭気RCSの現場展開による臭気低減と小物鋳鉄鋳物のガス欠陥対策」  
 (株)マツバラ 川島浩一 氏, (株)瓢屋(共同発表)
- (4) 第131回研究会：平成26年2月28日(金)  
 於：早稲田大学各務記念材料技術研究所
- ① 特別講演(1件)
- ・「人工砂を用いたインクジェット式三次元積層造形技術について」 (株)木村鋳造所 福田葉椰 氏
- ② 事例発表(3件)
- ・「保管環境によるシェル鋳型の特性について」  
 日立化成テクノサービス(株) 伊澤信太郎 氏
  - ・「新ヘッド鋳造工場 中子据え込み工程の品質改善」  
 日野自動車(株) 高橋篤史 氏
  - ・「電力削減プロジェクト活動(25%削減に向けて)」  
 (株)伊藤鋳造鉄工所 片岡智仁 氏

## 7. YFE企画委員会

3回の鋳物体験教室ならびにYFE大会を下記の通り開催した。

### (1) YFE鋳物体験教室

- ① 第162回全国講演大会における「子供いもの教室」の開催  
 日 時：平成25年5月24日(金)  
 開催場所：山梨大学甲府キャンパス  
 内 容：CO<sub>2</sub>ガス型作製後、溶解した錫を鋳造しペーパーウェイトを作製した。  
 展 示：自動車用鋳物(日野自動車株式会社様提供)  
 講 義：鹿毛秀彦氏(有限会社 日下レアメタル研究所)  
 参 加 者：鋳造実演を行った生徒数 約100名(1クラス約30名, 3クラス)
- ② 「鋳物体験教室」の開催  
 日 時：平成25年10月1日(火)  
 開催場所：千葉県立佐倉高等学校  
 内 容：ワックスで作製した生徒の作品を石膏型で型取りし、脱ろう・焼成後、CAC406(銅合金)を鋳造した。  
 指 導：佐藤健二氏(地方独立行政法人 東京都立産業技術センター)  
 参 加 者：鋳造実演を行った生徒数 約20名
- ③ 「鋳物の日」企画における「鋳物体験教室」(日本鋳造工学会YFE委員会企画)の共催  
 日 時：平成25年11月9日(土)  
 開催場所：東京都市大学等々力中学校  
 内 容：ホワイトメタルを溶解し、プレートを生砂により鋳型を作製し鋳造した。  
 指 導：鋳物の講義(室蘭工大：清水一道先生)  
 参 加 者：鋳造実演を行った生徒 中学1~3年生 約25名
- (2) 全国講演大会でのYFE大会の開催  
 日 時：平成25年5月26日(日)  
 開催場所：山梨大学甲府キャンパス
- ① 鋳造技士による鋳造現場改善事例講演(2件)
- ・「穴埋反転方法の改善」(株)木村鋳造所 角田賢志 氏
  - ・「建設機械用フロントハブ不良低減」  
 (株)伊藤鋳造鉄工所 山田裕一 氏
- ② 新東工業若手研究助成講演(1件)
- ・「ソノ凝固による過共晶Al-Si-Cu合金のヘテロ構造創成」 豊田工業大学 末次晋平 氏
- ③ 日下賞受賞記念講演(4件)
- ・「取鍋傾動式自動注湯機のプロセス解析と高精度化」 山梨大学 野田善之 氏
  - ・「Cu, Mn, Sn添加によるダクタイル鋳鉄管の高強度化」 (株)栗本鐵工所 中本光二 氏

- ・「**鋳鉄溶湯からのマンガン除去技術の開発**」  
岩手県工業技術センター 高川貫仁 氏
- ・「**マイクロ解析技術を用いた鋳鋼の高温酸化被膜観察**」  
日立金属(株) 山根英也 氏

#### 8. 広報委員会

- (1) 支部便りNo. 31を編集し、支部HPの会員専用ページに掲載した。
- (2) 平成25年5月発行の「**鋳造工学**」5月号に、「**関東支部の活動状況**」を掲載した。
- (3) 平成25年5月および10月開催の合同編集委員会にて、支部の活動状況、HPの運営状況について報告した。
- (4) 平成25年7月に、会誌現場技術改善事例の執筆を依頼する11社を編集委員会に推薦した。
- (5) 関東支部HPを毎月更新した。
  - ① 支部長による新年の挨拶（H26年1月）を掲載。
  - ② H25年度総会資料をH25年5月に会員専用HPに掲載。
  - ③ 研究委員会：加山記念講演（H24年4月）記事、支部講演会（87、88回）の開催案内・記事を掲載。
  - ④ YFE企画委員会：「**鋳物の日**」企画における「**鋳物体験教室**」の記事を掲載。
  - ⑤ **リレーエッセイ**：H24年4月～H25年3月まで、4件の投稿を掲載。  
H25年5月「**鋳物人 じぇいじぇい!**」  
日本鋳造工学会 事務局 鈴木理恵氏  
H25年6月「**異なる研究室で学ぶ**」  
東京工業大学総合理工学研究科 熊井研究室  
中村亮司氏  
H25年8月「**奥会津に魅せられて**」  
日野自動車 井田雅也氏  
H25年9月「**おもてなし!（全国講演大会の山梨開催）**」 山梨大学工学部機械システム工学科  
中山研究室所属学生一同
- ⑥ **誰でもわかる基礎講座**：H25年度は12件の連載記事を掲載。  
鋳鉄の熱処理（執筆者：ものづくり大学、鈴木克美氏）：H25年4月～H25年5月  
アルミニウム合金の時効熱処理と析出硬化（執筆者：東京工業大学、里達雄氏）：H25年6月～H26年3月
- ⑦ 研究室紹介：「**3Dプリンター（砂積層）工法を利用した新しいモノづくり**」（執筆者：(株)コイワイ 小林大輔氏）をH24年5月に掲載。
- ⑧ その他：支部理事会の会告、議事録を会員専用HPに掲載。  
平成26・27年度関東支部代議員選挙の会告、代議員候補者リストを公開。

#### 9. 人材育成委員会

- 委員会を3回開催し、日本鋳造協会の関東地区の「**鋳造カレッジ**」及び「**鋳造入門講座**」の運営を支援した。
- (1) 第1回委員会(25.4.22):「**鋳造カレッジ関東**」の24年度受講生の成績と鋳造技士の推薦について審議、本年度の受講生（本年度インターンシップ受講生含む）のうち認定基準を満たしている31名を合同委員会に推薦することとした。25年度の鋳造カレッジ及び鋳造入門講座の運営について確認、審議した。
  - (2) 第2回委員会(25.12.4):「**鋳造カレッジ関東**」25年度の講座の進捗状況及びインターンシップ内容の詳細、工場見学のスケジュール、26年度の開催スケジュールについて検討、審議した。
  - (3) 第3回委員会(25.3.17):「**鋳造カレッジ関東**」の25年度の講座の運営状況について受講生アンケートなどを参考にして反省や改善点を討議し、これに基づいて26年度のカリキュラム等の開催計画を確認し、運営の進め方を検討、審議した。このほか「**鋳造入門講座**」の開催、「**関東鋳造技士会**」のフォローアップについても検討した。

#### 4. 北陸支部

##### (1) 総会（YFEと共催）

開催日：2013年4月26日

会場：ホテル金沢（石川県金沢市堀川新町1番1号）

- 内容：①2012年度事業報告及び会計報告  
②2013年度事業計画及び事業予算  
③支部規則改訂に関する進捗状況報告と意見交換  
④全国講演大会の開催準備状況の報告と意見交換  
上記①及び②について採決の結果、承認された。

##### (2) 理事会（YFEと共催）

< 第1回理事会 >

開催日：2013年9月9日

会場：高岡商工会議所商工ビル 505室（富山県高岡市丸の内1-40）

- 内容：①WFC2016募金委員会に対する北陸支部としての対応方法について意見交換  
②The 5th Japan - Korea Workshop for Young Foundry Engineers参加報告

< 第2回理事会 >

開催日：2013年11月22日

会場：ウイング・ウイング高岡 502号室（富山県高岡市末広町1番8号）

- 内容：①支部規則改訂にともなう代議員選挙の実

- 施に関して
- ②今後の行事予定と運営方針
  - ③全国講演大会の開催結果報告
- < 第3回理事会 >
- 開催日：2014年3月5日
- 会場：ポリテクセンター富山(富山県高岡市ハケ55)
- 内容：①2013年度事業報告及び会計報告
- ②2014年度事業計画及び事業予算
  - ③支部代議員選挙の進捗状況報告
- (3) 企画委員会 (YFEと共催)
- メール会議及び支部理事会終了後の打合せ会などを開催し、行事の立案及び運営方法の検討を行った。
- (4) 支部講演会 (YFEと共催)
- 事業計画上は実施することになっていたが、全国講演大会の準備に専念するために休止した。
- (5) 支部技術講習会 (全国講演大会開催のため休止)
- 開催日：2013年10月26日(土)(全国大会(高岡)開催期間中)
- (6) 支部工場見学会 (全国講演大会開催のため休止)
- 開催地：富山県高岡市
- (7) 支部研究発表会 (YFEと共催,(一社)日本鑄造協会北陸支部と共催)
- 開催日：2014年3月5日
- 開催地：ポリテクセンター富山(富山県高岡市ハケ55)
- 内容：以下の内容で基調講演と一般講演を実施した。参加者数は59名(登壇者7名を除く)であった。
- (8) YFEこども鑄物教室
- 開催日：2013年8月3日, 4日
- 開催地：福井県鯖江市
- 内容：(財)福井県産業会館が主催する「おもしろフェスタinサンドーム福井」にて「こども鑄物教室」を開催し、鑄造技術を使った日用品作製を体験してもらい、鑄造とその関連技術の理解促進に努めた。2日間の参加者数は約400名であった。事故なく完了することができた。

13:25	開会のあいさつ	(一社)日本鑄造協会 北陸支部 支部長 明石 巖
13:30	基調講演「3次元積層造型(3Dプリンター)の実際と今後の課題」 【3D積層工法】創業以来、40年に渡り試作・研究開発用鑄物部品製造に軸足を置き、技術を蓄積。2007年日本初の3Dプリンターによる『積層砂型サービスビューロ開設』2013年アジア太平洋地域No.1の生産能力と技術により年間100社以上、600種類以上に及び試作鑄物造りの実績を有する。現状と今後の課題を紹介する。 株式会社コイワイ 専務取締役 小岩井修二 様	
14:30	休憩	
14:40	砂型鑄造したAl-10%Si-0.3%Mg合金における析出分布に及ぼす凝固組織の影響 富山大学(院生)○青島剛士 富山大学(現:谷田合金)森田圭祐,富山大学 才川清二,寺山清志, 北陸職業能力開発大学校 池野進,アーレスティ 柳原恵美,武田秀	
15:00	FIB法を用いたダクタイル鑄鉄中における球状黒鉛の観察 富山大学(院生)○北川貴啓 コマツキャストテックス 原敬道,北陸職業能力開発大学校 池野進 富山大学 才川清二,寺山清志,松田健二	
15:20	ダクタイル鑄鉄中の球状黒鉛に及ぼすアンチモンの影響 富山大学(院生)○黒木健太 コマツキャストテックス 原敬道,北陸職業能力開発大学校 池野進 富山大学 才川清二,寺山清志,松田健二	
15:40	休憩	
15:50	鑄鉄の脱マンガン処理とその効果 金沢工業大学(院生) 植村靖文, (株)スギヤマ 望月栄治,金沢工業大学 岸陽一,矢島善次郎	
16:10	鑄造工場における電力低減活動 コマツキャストテックス 山本宜亮,林 正憲,手井克之	
16:30	品質工学を用いたシリンダブロックのガス欠陥対策 コマツキャストテックス 宮崎隆史 BKI 山本洋,コマツ 大谷敬司,細井光夫	
16:50	閉会のあいさつ	(公社)日本鑄造工学会 北陸支部 支部長 矢島善次郎
16:55	閉会	

内 容：全国講演大会会場にてテントを設営し，こども鋳物教室を開催した．

開催日：2013年11月9日(土)の予定

開催地：石川県の予定

内 容：事業計画上は実施予定であったが，全国講演大会開催時にこども鋳物教室を開催することとなり，中止した．

(9)(一社)日本鋳造協会北陸支部との共催事業

開催日：2013年4月26日

開催地：ホテル金沢(石川県金沢市堀川新町1番1号)

内 容：講演会及びその後の懇親会を共催した．講演会の演題及び講師は次のとおりである．

講演 1

世界的にリスク・オンの姿勢が鮮明に!! Great Rotationの波が到来!!

大正大学教授 杉村富生 氏

講演 2

平成25年度の取り組み 本部活動報告

日本鋳造協会会長 木村博彦 氏

開催日：2014年3月5日

開催地：ポリテクセンター富山(富山県高岡市八ヶ55)

内 容：講演会と懇親会を共催する．小岩井修二氏(株式会社コイワイ専務取締役)を招聘し，『3次元積層造型(3Dプリンター)の実際と今後の課題』と題して講演していただいた．その後，会員相互の親睦と情報交換を目的とした懇親会を開催した．

(10) 支部代議員選挙の実施

2014年度及び2015年度の支部代議員に関して選挙を実施し，以下の代議員が決定した．なお，選挙管理委員は，塩谷憲司氏(委員長)，明石隆史氏，金森尚吾氏で，事務担当として岸陽一氏が参画した．

2014年度及び2015年度代議員一覧

No	氏名	所属	No	氏名	所属
1	矢島善次郎	金沢工業大学	16	塩谷哲生	石川可鍛製鉄(株)
2	原 敬道	コマツキャスト(株)	17	長谷博史	津田駒工業(株)松任工場
3	梶 精能	(株)梶鋳工所	18	舟木克之	石川県工業試験場
4	林 正太郎	(株)協和製作所	19	金森尚吾	KANAMORI SYSTEM Inc.
5	関戸邦雄	石川県鋳物工業協同組合	20	明石隆史	(株)明石合銅
6	淡路佳孝	コマツキャスト(株)	21	塩谷憲司	石川可鍛製鉄(株)
7	上谷保裕	富山県立大学	22	橋本弘一	田中合金(株)
8	金森 敬	KANAMORI SYSTEM Inc.	23	松崎拓治	コマツキャスト(株)
9	才川清二	富山大学大学院理工学研究部	24	井家 洋	(有)小松鋳型製作所
10	田中隆博	アイシン新和(株)	25	藤井 要	石川県工業試験場
11	富川 宏	(有)コンキャスト	26	高橋啓二	コマツキャスト(株)
12	萩原博文	金森藤平商事(株)北陸支店	27	羽田士郎	(株)羽田合金
13	明石 巖	(株)明石合銅	28	金盛康宏	笹谷工業(株)
14	阿手雅博	金沢学院大学	29	奈部和宏	(株)高岡製作所
15	岸 陽一	金沢工業大学			

(11) 第163回全国講演大会の開催

次の内容で全国講演大会を開催した．なお，実行委員長・矢島善次郎(金沢工業大学)，副実行委員長・明石 巖(株)明石合銅)，副実行委員長・梶 精能(株)梶鋳工所)，副実行委員長・原 敬道(コマツキャスト(株))を中心として大会役員を組織し，運営にあたった．

期 日：平成25年10月25日(金)から10月28日(月)

場 所：高岡商工ビル(高岡市丸の内1 40)，高岡JAビル(高岡市あわら町1 1)

<10月25日(金)>

- 技術講習会，高岡商工ビル2階大ホール

<10月26日(土)>

- 研究発表講演会，第1会場から第6会場
- 日本鋳造協会秋季大会，高岡商工ビル2階大ホール
- 特別講演会，高岡商工ビル2階大ホール
- カタログ展示コーナー，高岡商工ビル2階大ホール前
- PRタイム，高岡商工ビル2階大ホール前
- YFEこども鋳物教室，高岡商工ビル前特設テント
- 懇親会・学生交流会，ホテルニューオータニ高岡

- エクスカーション
- <10月27日(日)>
- 研究発表講演会，第1会場から第6会場
- <10月28日(月)>
- 工場見学会，4コース開催

## 5. 東海支部

### (1) 支部総会

開催日 H25.4.12(金)  
 会場 愛知県産業労働センター 901会議室  
 参加者 86名  
 議事 平成24年度事業報告  
 1. 支部総会  
 2. 講演会  
 3. 名工大特別講義  
 4. 講習会  
 5. 工場見学会  
 6. 若手討論会  
 7. 役員会  
 8. 表彰  
 9. 研究部会  
 10. 懇話会  
 平成24年度決算報告  
 平成25年度支部役員と役員体制(案)  
 平成25年度事業計画(案)  
 平成25年度予算(案)  
 事務局移転について

### (2) 講演会

開催日 H25.4.12(金)  
 会場 愛知県産業労働センター  
 演題 「特別講演会」  
 参加者 86名  
 講師 1 X線画像解析技術の最新動向  
 GEセンシング&インスペクション・  
 テクノロジーズ(株)  
 山根 誉久 氏

開催日 H25.7.19(金)  
 会場 愛知県産業労働センター  
 演題 「特別講演会」  
 参加者 74名  
 講師 1 鋳造設備開発における弊社の取り組み - グローバル化を視野に入れて -  
 新東工業株式会社  
 部長 橋本 邦弘 氏  
 2 わが社のモノづくり経営革新  
 株式会社 今西製作所  
 代表取締役社長 今西 寛文 氏

開催日 H25.9.26(木)  
 会場 長野県機械金属健保会館

### 長野地区 [ 鋳物技術講演会 ]

参加者 73名  
 演題 「基調講演」  
 1 鋳鉄材料の基礎と応用  
 大同大学 青山 正治 氏  
 「技術講演」  
 2 鋳鉄溶解技術の高度化と溶解システム  
 アイシン高丘エンジニアリング  
 渥美 建夫 氏  
 3 鋳鉄の水素吸収によるピンホール欠陥の発生に及ぼすAl・Mn・Sおよび鋳型材質の検討  
 岐阜大学 岩堀 弘昭 氏  
 4 レアアース動向と今後の鋳鉄材料に必要な要素  
 (有)日下レアメタル研究所  
 鹿毛 秀彦 氏  
 「部会報告」  
 5 鋳鉄鋳物製造における3Dプリンター活用事例  
 (株)木村鋳造所 福田 葉椰 氏  
 「改善事例発表」  
 6 鋳鉄製ピストンリングの鋳造不良改善  
 TPR(株) 川越 隆弘 氏

開催日 H25.11.15(金)

会場 桑名中央公民館 [ 鋳物技術講演会 ]  
 参加者 62名  
 演題 「基調講演」  
 1 話題の3Dプリンターとものづくり，そして鋳造への展開  
 東京工業大学 萩原 恒夫 氏  
 「技術講演」  
 2 (株)ExOne - 砂型造形3Dプリンターの概要及びその活用事例  
 (株)ExOne 加藤 未来 氏  
 「研究部会報告」  
 3 NC切削加工による高速鋳型作製技術  
 岐阜大学 岩堀 弘昭 氏  
 「現場技術改善事例紹介」  
 4 LPDCシリンダーヘッドの介在物不良対策  
 愛知機械工業(株) 加藤 篤 氏

開催日 H26.2.5(水)

会場 グランシップ  
 静岡地区「鋳物技術講演会」  
 参加者 79名  
 演題 「技術講演」  
 1 鋳鉄のひけ性と鋳型強度  
 早稲田大学 中江 秀雄 氏



2 球状黒鉛鋳鉄の核生成と成長及びポロン問題

ミクロ解析センター 五十嵐 芳夫 氏  
「研究部会報告」

3 鋳鉄溶湯からの不純物除去技術の動向  
三重県工業研究所 藤川 貴朗 氏

(3) 名古屋工業大学 特別講義

開催日 H25.6.14(金)

会場 名古屋工業大学 [名工大特別講義]

参加者 延べ34名

- 演題 1 鋳造とは  
半田重工業(株) 平野 春好 氏
- 2 鋳造と自動車  
トヨタ自動車(株) 藤田 邦彦 氏
- 3 大物鋳造品と技術  
(株)木村鋳造所 菅野 利猛 氏
- 4 鋳造の未来  
科学技術交流財団 三輪 謙治 氏

(4) 豊橋技術科学大学 特別講義

開催日 H25.11.21(木)

会場 豊橋技術科学大学

[豊橋技科大学特別講義]

参加者 79名

- 演題 1 鋳造とは成形工学  
名古屋大学 野村 宏之 氏
- 2 鋳造とは  
半田重工業(株) 平野 春好 氏
- 3 鋳造と自動車  
トヨタ自動車(株) 藤田 邦彦 氏

開催日 H25.12.12(木)

4 大物鋳造品と技術  
(株)木村鋳造所 菅野 利猛 氏

5 鋳造の未来  
科学技術交流財団 三輪 謙治 氏

(5) 講習会

[鋳鉄の基礎講座]

開催日 H25.9.7(土)

会場 シャインズ

参加者 76名

- 演題 1 鋳鉄の組織とその特性  
大同大学 青山 正治 氏
- 2 鋳鉄溶解の基礎と応用  
(株)木村鋳造所 姜 一求 氏
- 3 鋳鉄鋳造方案の基礎  
城戸鋳造技術研究所 城戸 二郎 氏
- 4 CAEに基づく欠陥予測とその対策事例

アイシン高丘(株) 青山 佳照 氏

5 鋳型の基礎

新東工業(株) 橋本 邦弘 氏

[非鉄合金の基礎講座]

開催日 H25.11.16(土)

会場 シャインズ

参加者 42名

- 演題 1 アルミニウム合金の組織と性質  
日軽エムシーアルミ(株) 北岡 山治 氏
- 2 高品質なアルミニウム合金鋳物を作るために  
岐阜大学 岩堀 弘昭 氏
- 3 ダイカストの基礎と最新技術の動向  
岐阜大学 岩堀 弘昭 氏
- 4 各種アルミニウム鋳造法の基礎  
トヨタ自動車(株) 林 壮一 氏
- 5 アルミニウム合金の湯流れ・凝固シミュレーションの基礎と実用化  
高知工科大学 大塚 幸男 氏

[鋳鉄の中級講座]

開催日 H26.1.25(土)

会場 愛知県産業労働センター

参加者 72名

- 演題 1 鋳型管理と鋳物の不良について  
新東工業(株) 橋本 邦弘 氏
- 2 鋳鉄溶解管理技術と鋳物の不良について  
(株)木村鋳造所 菅野 利猛 氏

(6) 工場見学会

開催日 H25.9.27(金) 長野地区「工場見学会」

参加者 46名

見学先 1 株式会社 ヤマトインテック  
自動車部品、エンジン部品、建設機械部品などを生産。多品種少量生産に対応し製造過程は鋳物素材製造から機械加工まで一貫生産工場。

2 株式会社 IHIシバウラ 松本工場  
ディーゼルエンジン製造を主力とし、ジャストインタイムで部品供給を行い、多品種少量生産を実現している鋳物から組立までの一貫生産工場。

開催日 H26.2.6(木) 静岡地区「工場見学会」

参加者 54名

見学先 1 栗田産業株式会社 御前崎工場  
射出成型機向けの素材を中心に、500Kg~6000Kg程度の中・大物鋳物の製造を行っている手詰め工場。

2 株式会社 木村鋳造所 御前崎工場

3次元CADとNC加工による模型造りと、フルモールド鋳造法による自動車プレス金型及び大型産業鋳物の手詰め工場。

(7) 若手技術者討論会

開催日 H25.10.9(水)

会場 愛三工業(株) 愛知県大府市

事例 小物アルミダイカストにおける不具合対策(スロットルボディの鋳巣)

参加者 22名

参加企業 愛知機械工業(株), トヨタ自動車(株), (株)アーレスティー, アイシン精機(株), 豊田自動織機(株), 寿金属工業(株), 旭テック(株), スズキ(株), 中央可鍛工業(株), (株)Edge Creators, 伊藤忠セラテック(株), (株)トウチュウ, 愛三工業(株)

開催日 H25.12.3(火)

会場 (株)木村鋳造所 静岡県駿東郡

事例 鋳鉄における不具合対策(フラン鋳型の異常組織)

参加者 14名

参加企業 旭テック(株), 栗田工業(株), (株)コヤマ, 静岡県工業技術研究所, (株)スギヤマ, (株)豊田自動織機, 野木鋳造(株), (株)マツバラ, (有)平野鋳造所, トシコ鋳工(株)

開催日 H26.2.27(木)

会場 佐久勤労者福祉センター 長野県佐久市

事例 砂型鋳造欠陥発生要因の絞り込みと対策案検討(クランクキャップのフィッシャー欠陥)

参加者 10名

参加企業 (株)コヤマ, TPR(株), 森川産業(株), (株)ヤマトインテック

(8) WFC実行委員会

開催日 H25.7.19(金)

会場 愛知県産業労働センター 905会議室

議題 1 各部会役割について  
2 委員選定について  
3 その他

開催日 H25.11.14(木)

会場 愛知県産業労働センター 908会議室

議題 1 WFC2016本部委員会の報告  
2 2014WFCスペイン大会への参加者と予定  
3 WFC2016東海支部実行委員会の今後の進め方  
4 その他

開催日 H26.2.28(金)

会場 豊田・毎日ビルディング 38階 3807会議室

議題 1 WFC2016本部実行委員会の報告  
2 WFC2016 東海支部実行委員会メンバーについて  
3 WFC2016 展示会について  
4 その他

(9) 会員交流会

開催日 H25.7.19(金)

会場 ホテルキャッスルプラザ 鳳凰の間

議題 現場技術改善事例 執筆者紹介

参加者 59名

(10) 平成25年度役員会実施報告

日時 H25.4.12(金)

会場 キャッスルプラザ

会議名称 顧問理事会 H25年度の議事

会場 愛知県産業労働センター 901大会議室

会議名称 平成25年度総会

1. 平成24年度事業報告ならびに決算報告
2. 平成24年度東海支部表彰受賞者決定の件
3. 平成25年度支部役員ならびに役員体制
4. 平成25年度事業計画について
5. 平成25年度予算(案)の説明
6. 事務局移転の件
7. その他

日時 H25.5.16(木)

会場 愛知県産業労働センター 906会議室

会議名称 若手技術者討論会 幹事会

1. 若手技術者討論会の経過と主旨説明
2. 若手技術者討論会の進め方の説明
3. マニュアル作成について
4. 開催場所, 開催時期について
5. その他教材について

日時 H25.5.16(木)

会場 愛知県産業労働センター 906会議室

会議名称 企画委員会

1. 平成25年支部役員について
2. 平成25年度支部行事計画について
3. 「現場改善事例」執筆先推薦依頼について
4. 暑中見舞い広告掲載依頼について
5. その他

日時 H25.6.21(金)

会場 愛知県産業労働センター 907会議室

会議名称 理事会  
 1. 平成25年度支部役員について  
 2. 平成25年度支部行事計画について  
 3. 本部理事会報告  
 4. 本部代議員候補について  
 5. 会誌掲載用「現場改善事例」について  
 6. WFCについて  
 7. その他

日 時 H25.10.4(金)  
 会 場 愛知県産業労働センター 905会議室  
 会議名称 表彰選考委員会  
 1. 平成26年度本部表彰(6賞)候補者について  
 2. 永井科学技術財団賞 技術賞候補について  
 3. その他

日 時 H25.10.4(金)  
 会 場 愛知県産業労働センター 905会議室  
 会議名称 企画担当理事会  
 1. 支部事業の進捗報告  
 2. 来年度支部事業について  
 3. その他

日 時 H25.10.18(金)  
 会 場 愛知県産業労働センター 907会議室  
 会議名称 理事会  
 1. 平成26年度本部表彰(6賞)推薦候補について  
 2. 平成25年度支部事業の進捗報告  
 3. 平成26年度支部事業について  
 4. 平成26・27年度本部代議員の推薦について  
 5. 本部理事会報告  
 6. WFCについて  
 7. その他

日 時 H26.1.24(金)  
 会 場 新東工業(株) 大会議室  
 会議名称 研究部会委員会  
 1. 平成25年度各研究部会・懇話会進捗報告  
 2. 研究部会の運営について  
 3. その他

日 時 H26.1.24(金)  
 会 場 新東工業(株) 大会議室  
 会議名称 支部表彰選考委員会  
 1. 平成25年度支部表彰選考について  
 2. その他

日 時 H26.2.28(金)  
 会 場 豊田・毎日ビルディング 3807会議室

会議名称 企画担当理事会  
 1. 平成25年度支部事業の進捗状況について  
 2. 平成26年度支部事業について  
 3. 平成26年度総会日程について  
 4. WFCについて  
 5. その他

日 時 H26.3.14(金)  
 会 場 愛知県産業労働センター 907会議室  
 会議名称 理事会  
 1. 平成25年度支部行事・会計報告について  
 2. 平成25年度支部表彰について  
 3. 平成26年度支部行事計画・予算案について  
 4. 平成26・27年度支部役員について  
 5. 本部理事会報告  
 6. 平成26年度総会・特別講演会について  
 7. WFCについて  
 8. その他

## 6. 関西支部

1. 通常会合  
 顧問会 平成26年1月24日  
 代議員会 4/19  
 理事会 6/13, 8/21, 10/30, 12/6,  
 平成26年3月26日  
 研究運営委員会 平成26年3月26日  
 研究奨励賞選考理事会 12/6  
 功労賞・技術功労賞選考理事会 12/6

2. 支部総会, 評議員会および講演大会  
 評議員会・総会・表彰式・春季支部講演大会・交流会  
 開催日時: 平成25年4月19日(金)13:30~16:50  
 場 所: たかつガーデン たかつ西(8階)  
 参加者 51名  
 <第6回関西支部 石野賞受賞記念講演>  
 「キュボラの変遷と鑄鉄溶解」  
 (株)ナニワ炉機研究所 村田悦夫  
 <特別講演>  
 「大学の機能別分化とリサーチアドミニストレーション」  
 大阪府立大学 辻川正人  
 「アルミ鑄造プロセスへの窒化けい素セラミックス部材の適用」  
 (株)クボタ 西 隆

秋季支部講演大会

開催日時：平成25年11月12日(火)13：30～17：00

場 所：関西大学千里山キャンパス

第4学号館3号館3401室 参加者 62名

(1) レーザ熱処理による鋳鉄金型の一体化

大阪府立大学 辻川 正人

友鉄工業 角井 洵, 友廣 和照

富士高周波工業 後藤 光宏

(2) Srを添加したAl-Si合金におけるSrの存在状態

大阪大学 尾崎 了太, 柳楽 知也, 吉矢 真人

京都大学 安田 秀幸,

クイーンズランド大学 野北 和宏

JASRI/SPring 8 寺田 靖子

(3) レーザアロイングによる炭素鋼基材への合金炭

化物含有表面硬化層の形成と評価

大阪府立産業技術総合研究所 山口 拓人,

萩野 秀樹, 武村 守

長谷川 泰則, 道山 泰宏

大阪府立大学 中平 敦

(4) その場観察を利用した固液共存体のせん断変形

に及ぼす固相率の影響

大阪大学 柳楽 知也, 横田 大和,

森田 周吾, 吉矢 真人

京都大学 安田 秀幸,

インペリアル大学 Christopher Gourlay

大阪産業大学 杉山 明,

JASRI/SPring 8 上杉 健太郎

(5) 縦型双ロールキャスターにより作製した鋳鉄薄

板の特性

栗本鐵工所 宮本 武明, 道浦 吉貞, 霜村 潤,

山本 匡昭, 平田 祥一, 松葉 昌平

大阪工業大学 羽賀 俊雄

(6) 溶射皮膜を用いた鋳鉄の摩擦圧接

大阪産業大学大学院 XIA YUNXING,

川下 紀之(現ダイヤモンド電機)

大阪産業大学 入澤 毅,

九工大名誉教授 岸武 勝彦

(7) 加熱源に過熱水蒸気を用いた鋳型新造型法

リグナイト(株) 井出 勇, 関 徹, 呉 稔

(8) 鋳鉄の黒鉛形態に及ぼす酸素量と硫黄量の影響

関西大学大学院 井上 史弥,

関西大学 丸山 徹

(9) 時間分解・その場観察による過共晶鋳鉄の溶

解・凝固に及ぼすMgの影響

IHI 山根 功士朗, 牛込 智章, 佐藤 彰洋

京都大学 安田 秀幸, 大阪産業大学 杉山 明

大阪大学 柳楽 知也, 吉矢 真人

JASRI/SPring 8 梅谷 啓二, 上杉 健太郎

3. 支部研究会

関西鋳造懇話会 委員長 毛利 勝一 氏

平成25年度事業報告

研究会体制を見直し、鋳物・材料研究会、AT研究会、鋳造懇話会をまとめ「関西鋳造懇話会」として統合した。平成25年度は期間限定活動(3年間)の最終年度であった。3回の研究会を開催し、延べ137名の参加を得た。

第7回 H25.06.18 大学コンソーシアム大阪

参加者数46名

(正:30名, 講演:3名, 賛助他:13名)

(1)「我が社の技術動向 株式会社明石合銅」

株式会社明石合銅 常務取締役 明石 隆史

(2)「Cu, Mn, Sn添加によるダクタイル鋳鉄管の高強度化」

株式会社栗本鐵工所 中本 光二

(3)「大型鋼魂の凝固過程と偏析」

姫路工業大学(現兵庫県立大学)名誉教授,

福井大学名誉教授, 元神戸製鋼所 森 隆資

第8回 H25.09.27 近畿大学

参加者54名(正:49名, 講演:4名, 名誉:1名)

(1)「発光分光分析の最新技術と分析機器」

アメテック株式会社 スペクトロ事業部 島野 修

(2)「押湯保温材の最新技術動向について」

明和株式会社 本社営業部 藤林 正裕

(3)「有機自硬性鋳型の砂管理について」

山川産業株式会社 技術・開発室 川上 学

(4)「鋳造トレーサビリティ・ソリューションによる品質保証について」

甲南大学 ビジネス・イノベーション研究所長

経営学部教授 長坂 悦敬

第9回 H26.01.24 たかつガーデン

参加者37名(正:28名, 講演:5名, 名誉:4名)

(1)「材料研究開発組織『マテリアルセンター』を設立して」

株式会社クボタ マテリアルセンター 森川 長

(2)「オープン・イノベーション時代 大学との連携で新規事業へ挑戦...『ものづくりイノベーション研究所』による中小企業支援...」

大阪府立大学 地域連携研究機構 辻川 正人

(3)「低熱膨張鋳鋼の開発...熱膨張特性と被削性に及ぼすNb添加の影響...」

日立造船株式会社 若狭事業所 和田 圭晃,

萱原 享, 梶本 孝信

技術研究所 田中 智大, 角谷 茂

(4)「高強度黒心可鍛鋳鉄の試作開発...あるユーザーの要望に答えて...」

株式会社三共合金鋳造所 橋堂 忠,

長谷 俊明, 桜井 市蔵, 松元 秀人

(5)「業務ソフト開発と導入による経営革新」  
株式会社南野産業 南野 隆弘  
消失模型鑄造法研究会 委員長 池永 明  
3回の研究会を開催した。第2回目(通算第100回)は記念大会として一般公開し、報告書「塗型剤の標準試験方法(改訂版)」と中国塗型剤に関する情報資料をCD配布した(平成25年11月27日 参加登録者数110名)。

#### 4. 支部講習会

##### 第8回鑄造セミナー

開催日時:平成25年12月7日(土)13:30~17:10  
場 所:近畿大学東大阪本部キャンパス38号館  
2階 多目的利用室 参加者40名

- (1)「金属の組織,性質と状態図」  
大阪府立大学 辻川正人
- (2)「鑄鉄の組織,性質と状態図」  
小西技術士事務所 小西邦彦
- (3)「第一原理計算を活用した非鉄の組織,性質と状態図の新しいアプローチ」  
大阪府立大学 東 健司

#### 5. 例会 今回未開催(担当 武村)

#### 6. 広報委員会

平成24年11月13日にリニューアルした支部ホームページの更なる拡充と,支部および本部行事の広報活動を継続。

支部ホームページアドレス:

<http://www.jfs-kansai.jp/>

日本鑄造工学会:<http://www.jfs.or.jp/>

#### 7. 関西支部報発行プロジェクト委員会による支部報の発行

日本鑄造工学会関西支部通信創刊号を11月8日「鑄物の日」に下記内容にて発刊した。

##### 【内容】

- (1)実録!「都島工業高校キュボラ再生再始動」  
大阪市立都島工業高等学校 小松 賢治
- (2)会社見学会Report「若手人材育成への取り組み」  
大阪府立産業技術総合研究所 武村 守
- 第1班 見学先 JFE継手株式会社  
Reporter 株式会社センシュー 竹内 宏光
- 第2班 見学先  
福西鑄物株式会社・新報国製鉄株式会社  
Reporter 近畿大学理工学部 浅野 和典,  
大阪産業大学工学部 杉山 明
- 第3班 見学先  
安田工業株式会社・虹技株式会社

Reporter アサヒセイレン株式会社  
平野 健太郎

第4班 見学先 東尾メック株式会社・

大阪高級鑄造鉄工株式会社

Reporter 近畿大学理工学部 富田 義弘,  
ナニワ炉機研究所 村田 博敏

#### (3) 会社紹介

「株式会社クボタ 恩加島事業センター」

恩加島事業センター 上原 健文

(4)「My Lab」 近畿大学理工学部 浅野 和典

(5)「関西支部のこと あれこれ」

日本鑄物工業新聞社 渡邊 弘二

(6)「活動報告 関西鑄造懇話会/消失模型鑄造法の動向と研究会について」

関西鑄造懇話会委員長

日立造船株式会社 毛利 勝一

消失模型鑄造法研究会委員長 池永 明

#### 8. 研究講座運営委員会(新活動運営委員会)

今後の鑄造業の技術継承、発展に寄与する実務技術者に求められる現場知識と幅広い工学的知識を有する技術・技能者を育成することを目的とし,一般財団法人素形材センターと公益社団法人日本鑄造工学会が共催して「素形材技術研修講座」を開催。

##### 「鑄鉄の基礎と応用」

開催日時 平成25年8月5日(月)~9日(金)5日間  
(座学:4.5日,工場見学:0.5日)

開催場所 (座 学) 兵庫県立工業技術センター  
技術交流館2階セミナー室  
神戸市須磨区行平町3 1 12  
TEL 078 731 4123

(工場見学) 三共合金鑄造所,(一財)

近畿高エネルギー加工技術  
研究所

##### プログラム

平成25年8月5日(月)

第1部 鑄鉄の材質及び基礎技術

ねずみ鑄鉄の材質と用途

10:20~12:00 小西技術士事務所代表 小西邦彦  
球状・CV黒鉛鑄鉄の材質と用途

13:00~14:40

元近畿大学理工学部教授 工博 米田博幸

特殊鑄鉄の材質と用途

14:50~16:30

元近畿大学理工学部教授 工博 米田博幸

平成25年8月6日(火)

第2部 造型技術の基礎

生造型法  
 10:20~12:00 (株)クボタ 恩加島事業センター  
 鑄造技術グループグループ長 松本圭司  
 自硬性鑄型(無機系と有機系)と鑄型材料  
 13:00~14:40  
 山川産業(株) 代表取締役社長 易 宏治  
 消失模型鑄造法  
 14:50~16:30  
 関西大学 名誉教授 工博 小林 武  
 平成25年8月7日(水)  
 第3部 鑄造方案・欠陥対策・仕上げの基礎  
 鑄仕上げの現状と動向  
 10:20~12:00  
 大鉄産業(株) 鑄物本部技術部顧問 植村和典  
 鑄造方案の考え方  
 13:00~14:40 小西技術士事務所代表 小西邦彦  
 鑄造欠陥とその防止対策  
 14:50~16:30 特別教育士 元(株)クボタ 理事  
 素形材副事業本部長 和氣 慎  
 平成25年8月8日(木)  
 第4部 鑄鉄溶解の基礎  
 鑄鉄溶湯の性状  
 10:20~12:00  
 関西大学 化学生命工学部准教授 工博  
 星山康洋  
 誘導炉溶解の実際  
 13:00~14:40 富士電機(株) 鈴鹿工場  
 工業電熱部 設計課 松下昌規  
 キュボラ溶解の実際  
 14:50~16:30  
 (株)ナニワ炉機研究所 専務取締役 村田博敏  
 平成25年8月9日(金)  
 第5部 材質管理と検査入門  
 材質管理の基礎  
 10:20~12:00  
 近畿大学 理工学部准教授 工博 淺野和典  
 工場見学  
 13:15~17:00 (株)三共合金鑄造所,  
 (一財)近畿高エネルギー加工技術研究所  
 「銅合金鑄物の生産技術」(神戸開催)  
 開催日時 平成26年3月17日(月)~18日(火)2日間  
 開催場所 兵庫県立工業技術センター  
 技術交流館2階セミナー室  
 プログラム  
 平成26年3月17日(月)  
 銅合金鑄物の諸特性概論(状態図解説を含む)  
 10:00~11:40

関西大学 名誉教授 工博 小林 武  
 黄銅鑄物の材質特性,生産技術及び欠陥対策  
 12:40~14:00  
 元中越合金鑄工(株)取締役技術部長 矢後 亘  
 アルミニウム青銅鑄物の材質特性,生産技術及  
 び欠陥対策  
 14:10~15:30  
 元中越合金鑄工(株)取締役技術部長 矢後 亘  
 純銅鑄物の材質特性,生産技術及び欠陥対策  
 15:40~17:00  
 関西大学 名誉教授 工博 小林 武  
 平成26年3月18日(火)  
 青銅鑄物の材質特性,生産技術及び欠陥対策  
 10:20~11:40 (株)キッツ 生産本部  
 素材開発プロジェクトグループ長 小笹友行  
 銅合金鑄物の品質管理・生産管理(シミュレ  
 ションを含む)  
 12:40~14:00  
 丸三工業(株) 代表取締役社長 丸 直樹  
 シルジ青銅鑄物の材質特性,生産技術及び欠  
 陥対策  
 14:10~15:30  
 三菱伸銅(株) 開発技術本部 三宝開発部  
 主幹研究員 後藤佳行  
 鉛フリー銅合金鑄物の諸特性  
 15:40~17:00 (株)栗本鐵工所 技術開発本部  
 材料技術開発部 素形材グループ担当課長  
 山本匡昭

## 8. YFE委員会(担当 淺野)

### ①YFE委員会

「学生・院生,若手研究者・技術者による発表大  
 会」(YFE発表大会)

日 時:平成25年12月20日(金)13:00~17:00  
 会 場:近畿大学 Blossom Café 3階 多目的  
 ホール

参加者:65名

講 演:研究発表10件,会社紹介5件

研 修・勉強・研究のための活動であると同  
 時に,学生,若手技術者,技能者,研究  
 者によるネットワーク作りの一環とし  
 て企画した.終了後,交流会開催

### ②会社見学会

修士1年,学部3回生を対象にした会社見学会を  
 開催

日本ルツボ(株),JFE継手(株):平成26年2月17日(月)

(株)西島製作所,(株)ナカキン:平成26年2月18日(火)

安田工業(株),三菱重工(株)神戸造船所:

平成26年2月18日(火)

山川産業(株), (株)興国鋳鋼所:平成26年2月18日(火)  
虹技(株):平成26年2月24日(月)

9. 鋳造中核人材育成事業

平成25年度鋳造カレッジ, 鋳鉄コース及び鋳鋼コース  
インターンシップ実施.  
「鋳鉄コース 20名」,  
「鋳鋼コースインターンシップ 15名」

10. 石野賞(第6回)1名

株式会社ナニワ炉機研究所 村田 悦夫 殿

11. 支部表彰者

(1) 功労賞(第33回)1名

近畿大学 木口 昭二 君

(2) 技術功労賞(第43回)2名

長田 輝男 君 株式会社クボタ  
藤井 常雄 君 株式会社三共合金鋳造所

(3) 研究奨励賞(第30回)2件

『液体分離現象を利用した新規材料開発』  
永瀬 丈嗣 君 大阪大学  
馬越 佑吉 君 大阪大学

『固相粒の再配列を考慮したモデルによる固液共存  
体の不均一変形の再現』

森田 周吾 君 大阪大学大学院  
安田 秀幸 君 大阪大学  
柳楽 知也 君 大阪大学  
吉矢 真人 君 大阪大学

(4) 研究奨励助成金支給者 2件

研究課題『マグネシウム珪酸塩を硬化剤とした無  
機自硬性鋳型の開発研究』

丸山 徹 君 関西大学  
協同研究者

内田 啓太 君 山川産業(株)  
小楠 竜也 君 山川産業(株)  
易 宏治 君 山川産業(株)

研究課題『アルミナ短繊維強化アルミニウム合金  
複合材料の切削性』 浅野 和典 君 近畿大学

(5) 関西支部奨学賞(第15回)(4名)

高御堂 雄太 君  
関西大学化学生命工学部化学・物質工学科マテ  
リアル科学コース 三菱自動車(株)

三木 聡 君  
関西大学化学生命工学部化学・物質工学科マテ  
リアル科学コース 山川産業(株)

山中 数大 君  
近畿大学大学院総合理工学研究科 JFE継手(株)  
あみる いずद्丁ん びん いすまいる  
AMIR IZUDDIN BIN ISMAIL 君

近畿大学理工学部機械工学科 (株)エクセディ

7. 中国四国支部

1. 支部総会

開催日: 4月23日(火)  
場 所: 広島市工業技術センター  
出席者: 52名  
議 題: 1)平成24年度事業報告  
2)平成24年度決算報告  
3)平成25年度事業計画  
4)平成25年度予算  
5)支部表彰  
6)32期支部役員について

2. 理事会および常任理事会

(1) 理事会

開催日: 4月23日(火)  
場 所: 広島市工業技術センター  
出席者: 24名  
議 題: 1)平成24年度事業報告  
2)平成24年度決算報告  
3)平成25年度事業計画  
4)平成25年度予算  
5)支部表彰  
6)32期支部役員について

(2) 常任理事会

第1回常任理事会

開催日:平成25年4月9日(火)  
場 所: 広島県鋳物工業協同組合  
出席者: 10名  
議 題: 1)第32期支部役員選挙の結果  
2)平成24年度支部事業報告, 決算報告  
3)平成25年度支部事業計画, 予算  
4)総会・講演会の準備状況報告  
5)その他

第2回常任理事会

開催日:平成25年7月30日(火)  
場 所: 広島県鋳物工業協同組合  
出席者: 11名  
議 題: 1)第32期支部の運営体制について  
2)YFE事業について  
3)その他

第3回常任理事会

開催日:平成25年9月13日(金)  
場 所: 広島県鋳物工業協同組合  
出席者: 11名  
議 題: 1)平成25年度事業中間報告について  
2)支部研究発表会・講演講習会について  
3)平成26年度本部表彰推薦について  
4)その他

第4回常任理事会

開催日:平成26年1月30日(木)

場 所：広島県鋳物工業協同組合

出席者：11名

- 議 題：1)平成25年度事業中間報告について  
2)平成26年度事業計画について  
3)平成26年度支部表彰について  
4)総会について  
5)地方講演会について

### 3. 役員(第32期 平成25, 26年度)

- 支 部 長 今西 寛文 (株今西製作所)  
副支部長 下西 淳 (マツダ株)  
副支部長 旗手 稔 (近畿大学工学部)  
顧 問 石田 俊一 (日鋼マテリアル株)  
同 片島 三朗 (広島大学名誉教授)  
同 小松 眞一郎 (近畿大学名誉教授)  
同 佐野 弘明 (三菱重工交通機器  
エンジニアリング株)  
同 塩田 俊雄 (近畿大学名誉教授)  
同 吉野 克己 (ヨシワ工業株)  
同 柳澤 平 (広島大学名誉教授)  
同 小西 正明 (広島工業大学)

### 常任理事(10名)

- 系藤 春喜 (東北大学ACSセンター)  
茨木 浩夫 (三菱重工株)  
尾添 伸明 (島根県産業技術センター)  
桑原 修 (広島市工業技術センター)  
友廣 和典 (友鉄工業株)  
三島 万治郎(広島アルミニウム工業株)  
藤原 慎二 (アサゴエ工業株)  
廣藤 朋一 (日鋼テクノ株)  
松木 一弘 (広島大学)  
眞鍋 豊士 (高知県工業技術センター)

### 理事(12名)

- 石原 忠弥 (株ダイハツメタル)  
大田 喜穂 (株大田鋳造所)  
須藤 誠治 (東洋電化工業株)  
笠原 康正 (株北川鉄工所)  
小林 敏彦 (福山鋳造株)  
澤本 章 (山口大学教育学部)  
田中 保昭 (大和重工株)  
筒井 幹治 (株シンコー)  
花房 龍男 (広島県立総合技術研究所)  
日野 実 (岡山県工業技術センター)  
細川 順司 (ヨシワ工業株)  
前田 安郭 (海上保安大学校)

### 監事(2名)

- 九十九 徹 (株ツチヨシ産業)  
眞部 哲 (西村黒鉛株)

### 4. 支部表彰

功労賞 今西寛文 君(株今西製作所)

尾木哲夫 君(三菱重工株)

奨励賞 府山伸行 君(広島県立総合技術研究所  
西部工業技術センター)

安部昌弘 君(株宇部スチール)

片島賞 研究論文：1件

技術論文：1件

技術報告：2件

レビュー：2件

現場改善事例：2件

### 5. 鋳造技術講演会

#### (1) 鋳造技術講演会(4月)

共 催：(公財)広島市産業振興センター

開催日：平成25年4月23日(火)

場 所：広島市工業技術センター

参加者：92名

《支部奨励賞受賞講演》

「圧力制御鋳造によるアルミニウム合金の高度化」

広島県立総合技術研究所 府山伸行 君

「高品質な大型鋳鋼品を製造するための押湯健全

高さの決定」 (株宇部スチール 安部昌弘 君

《特別講演》

「黒鉛は何故、丸くなるのか、それにはMgやRE

は必要か」

早稲田大学 名誉教授 中江 秀雄 君

情報交換会 58名参加

#### (2) 鋳造技術講演会(12月)

共 催：(公財)広島市産業振興センター

開催日：平成25年12月4日(水)

場 所：広島市工業技術センター

参加者：95名

《3Dプリンター(付加製造)と鋳造への活用技術》

「“3Dプリンタ”と“ものづくり”」

シーメット株 開発部 部長 大場好一 君

「アディティブマニファクチャリング(付加製造

法)を実現するEOSINTとFORMIGAのご紹介」

(株NTTデータエンジニアリングシステムズ

AMビジネスユニット営業部

GM 井上敦由 君

「砂型造形3Dプリンターの概要及びその活用事例」

(株EX ONE 営業部 加藤未来 君

「“3D積層砂型工法”鋳物造りの現場から」

(株コイワイ 専務取締役 小岩井修二 君

情報交換会 47名参加

### 6. 研究発表会

共 催：(公財)広島市産業振興センター

開催日：平成25年12月4日(水)

場 所：広島市工業技術センター

参加者：75名



「摩耗に対する基地組織の影響の基礎研究」  
ヨシワ工業(株) 吉野正弘 君, 榎田康弘 君,  
藤本正樹 君, 松田賢二 君,  
川元健嗣 君

「砂かみ欠陥判定用試料として溶湯浸漬した生型砂の観察」

(株)ツチヨシ産業 枝根和也 君,  
長井壮一 君, 天久裕樹 君,  
上林仁司 君, 黒川 豊 君

「環境対応型無鉛はんだへのBi系合金の適応」

広島大学工学部 小西卓磨 君,  
寺田圭吾 君, 末次憲一郎 君,  
許 哲峰 君, 崔 龍範 君,  
松木一弘 君

「環境対応型Zn系高温はんだ用合金の設計と開発」

広島大学大学院 寺田圭吾 君,  
松木一弘 君, 崔 龍範 君,  
許 哲峰 君, 佐々木元 君,  
広島大学産学・地域連携センター  
末次憲一郎 君

「高シリコン共晶黒鉛鋳鉄の開発」

(株)北川鉄工所 素形材事業部  
山本義昭 君, 北川 潔 君,  
前田圭史 君

「鋳鉄溶湯のアーケ・スラグ処理法と操業の最適化」

(株)木下製作所 技術部 笹木正嗣 君,  
広島大学 工学研究科 杉尾健次郎 君,  
柳沢 平 君  
広島市産業振興センター 隠岐貴史 君,  
倉本英哲 君

## 7. YFE鋳造技術研究会

(1) 鋳造技術研究会・工場見学会

開催日:平成25年9月20日(金), 21日(土)

参加者:24名

工場見学会

大和重工(株)吉田工場

(株)ツチヨシ産業 技術研究センター

イブニングセミナー

「若手鋳造技術者への期待」

大和重工(株) 産業機械統括本部 長沼 静 君  
研究会

「鋳物ホーロー浴槽の特徴」

大和重工(株) 末岡雅司 君

「砂かみ欠陥判定用試料として溶湯浸漬した生型砂の観察」 (株)ツチヨシ産業 枝根和也 君,  
長井壮一 君, 天久裕樹 君,  
上林仁司 君, 黒川 豊 君

「ばい焼再生砂の色差としゃく熱減量」

(株)ツチヨシ産業 長井壮一 君,

枝根和也 君, 天久裕樹 君,

上林仁司 君, 黒川 豊 君

「溶融系人工砂使用によるアルミ製品鋳肌改善例」

群栄化学工業(株) 馬場和明 君

「レーザー焼結による鋳型迅速作製技術」

キングパーツ(株) 三島勝則 君

「操業取鍋におけるフェイディングと2次接種の効果について」 (株)今西製作所 滝本哲治 君

情報交換会:18名参加

(2) いいもの研究会

1) 第36回研究会

共 催:(公財)広島市産業振興センター

開催日:平成25年8月9日(金)

場 所:広島市工業技術センター

参加者:25名

「大物鋳鉄のCAE解析事例」

(株)宇部スチール 宮本論卓 君

「鋳造シミュレーションの事例紹介」

(株)大田鋳造所 岩角圭太 君

「窒化球状黒鉛鋳鉄の疲労強さ」

近畿大学工学部 旗手 稔 君,

信木 関 君, 大学院 河崎裕介 君

コマツ・生産技術開発センタ

浜坂直治 君

「球状黒鉛粒におけるMgのWDS分析」

東北大学ACSセンター 糸藤春喜 君

「鋳造相談事例に関するフリーディスカッション」

情報交換会:8名参加

(4) 第8回こども鋳物教室

共 催:(公財)広島市産業振興センター

広島市交通科学館

開催日:平成26年2月23日(日)

場 所:広島市交通科学館

参加者:20名

8. 支部会報「こしき」36号

発刊日:平成25年12月4日(水)

## 8. 九州支部

(1) 平成25年度支部総会, 表彰式, 第66回講演大会

総 会

日 時:平成25年4月3日(水)

場 所:九州工業大学 戸畑キャンパス 教育研  
究6号棟

議 題:1)平成24年度支部事業報告

2)平成24年度支部決算報告

3)平成25年度支部事業計画(案)

4)平成25年度支部予算(案)

5)技能功労賞, 技術奨励賞選出

表彰式

技能功労賞（3名）  
井上新治氏（株式会社日立金属若松）  
新原孝喜氏（日之出水道機器株式会社）  
深村 勉氏（東亜工機株式会社）  
技術奨励賞（1名）  
横溝雄三氏（株式会社香春製鋼所）

#### 第66回講演大会

研究発表：6件，参加者：63名

1) 多合金白鉄の変態，熱処理挙動と耐摩耗性

(株)香春製鋼所 横溝雄三

2) Ni - C系合金における黒鉛の生成

九工大 份岡直哉，大坪文隆，  
惠良秀則

3) ADC12合金の凝固組織に及ぼす雰囲気の影響

九大 大野陽輔，成田一人，宮原広郁

4) AZX912合金のひけ巣生成に及ぼす凝固条件の影響

九大 越智直哉，成田一人，宮原広郁

5) 高クロム鉄中M<sub>7</sub>C<sub>3</sub>炭化物の高温硬さに及ぼすMoおよびWの影響

久留米工専 山本 郁，笹栗信也，  
福岡女学院 松原安宏

6) 永久磁石で誘導攪拌して鑄造したアルミニウム合金円盤鑄物の凝固組織

九工大 吉本幸平，大坪文隆，  
惠良秀則

#### (2) 支部理事会

日時：(5回開催)

平成25年7月3日，8月1日，10月3日，  
12月3日，平成26年3月18日

主な議題：

本部理事会報告，鑄物研究会，全国講演大会，技能功労賞，技術奨励賞，現場改善事例，YFE活動，その他

#### (3) 支部代議員会

日時：平成25年4月3日(水)

場所：九州工業大学 戸畑キャンパス 教育研究6号棟

議題：1) 平成24年度支部事業報告  
2) 平成24年度支部決算報告  
3) 平成25年度支部事業計画(案)  
4) 平成25年度支部予算(案)  
5) 技能功労賞，技術奨励賞選出

#### (4) 九州鑄物研究会

1) 第186回研究会

日時：平成25年7月3日(水)15:30~17:30

場所：財団法人福岡県中小企業振興センター  
2階(202会議室)

講演：① 芦屋釜の遺跡発掘から復元まで

「芦屋釜の里」学芸員 新郷英弘

② “たたら”から“反射炉”へ

九州大学名誉教授 大城桂作

2) 第187回研究会

日時：平成25年12月3日(火)14:00~16:35

場所：福岡県工業技術センター 機械電子研究所

講演：① 3Dプリンターを使ったデジタルエンジニアリングについて

福岡県工業技術センター  
機械電子研究所 奥村克博

② RP砂型積層工法による各種鑄物の試作  
株式会社コイワイ 専務 小岩井修二

③ 若手技術者交流会(鷹取鑄造(株)，日之出水道機器(株)の取り組み紹介，他)

見学：

① 3Dプリンター(樹脂)

② 3Dデザイナー

#### (5) 第165回全国講演大会 準備委員会

日時：(3回開催)

平成25年8月1日，10月3日，12月3日

主な議題：会場，技術講習会，懇親会，工場見学会，エクスカージョン，こども鑄物教室，その他

#### (6) 支部YFE活動

1) 支部YFE幹事会

日時：平成25年4月3日(水)

場所：九州工業大学 戸畑キャンパス

2) ホームページ改定

新アドレス：

<http://zaiko3.zaiko.kyushu-u.ac.jp/jfs/>